



日野リビングラボ

- ▶ 市民のみなさんが日頃の生活で感じている課題を、市民と企業、地域団体、行政らが協力して、解決策を考える対話の場
- ▶ 心から「日野に住んで良かった」と思える毎日を実現するには？
- ▶ あなたの声から、新しいサービスや大きな変化のヒントが生まれる！？

第1回のテーマ

- ▶ みなさんが日野に住んで良かったと思えるために
- ▶ **わがまま**になってみましょう！

地域に必要なものをつくろう

- ▶ 自分たちにとって必要。
だから自分たちでつくる
 - ▶ まちづくりはしない。まちを生きる
- ▶ 自分に必要なものを選択して参加
- ▶ **わがまま歓迎！**
 - ▶ 自分が必要と思うことを口にしてみる。
- ▶ トラブルや失敗は相互理解のチャンス

日野の暮らしをもっと楽しく、 充実したものにしよう！

- ▶ 私の生活で感じる
あんなこといいな、できたらいいな
と思っていることは？
- ▶ その解決には、どんな資源があれば
いい？
- ▶ ニーズと資源がつながるために、
どのような活動が必要だろう？
- ▶ 実現に向けて進めていくには？

第1回

第2回

第3回

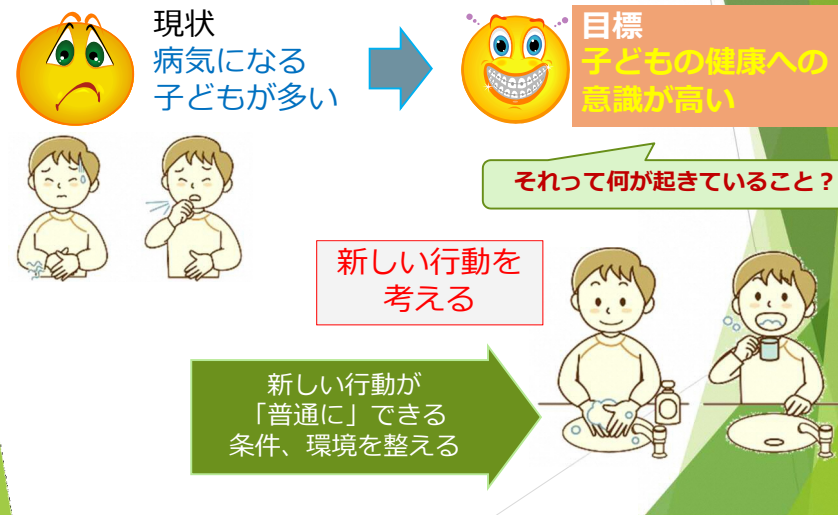
みなさんと協力して、 良い話し合いの場にしましょう！

- ▶ **私が**ほしいこと、**私が**したいこと
… 主語は「私」で話しましょう。
- ▶ 今日は、実現可能性を問いません。
「こんなこと無理かな」もOK！
- ▶ それぞれの考え方、物事の捉え方、
ニーズがあります。自分と違う考えも
「なるほど、そう考えるのか」と
お互いに**聴きあい**ましょう。

第2回のテーマ

- ▶ 地域の人「困っていること」と
「できること」が、どのように
出会えたらいいのだろう？
- ▶ 困っている人も、できることがある人
も地域にはいます。でも、お互いに見
えないし、手もあげづらい。本当は、
どんな出会いがあるといいのだろう？

困り事が起きた時、 どんな風に行動できたらいいだろう？



未来の日野で、「困った」は、 どんな風に解決しているの？

- ▶ 前回の参加者の声から自分の関心あるもの、解決を考えたいものを、選びます。
- ▶ そのテーマについて、「困ったな、なんとかならないかな」と思う人の**エピソード**を考えてみます。
 1. どんな時・どのようなきっかけで、
 2. こうしたいと思ったのに、
 3. こんな結果になってしまった



こんな風に解決できたらいい のに！

- ▶ その困った状況が、未来の日野で**解決できたストーリー**も考えてみましょう
 - ▶ こんな人（組織等）に連絡して
 - ▶ その人がこう動いてくれたので、
 - ▶ こんな風に解決できた
- ▶ その解決策を実現するには、「こんな人（組織）がいて協力してくれたらいい」と思う存在は？

例えば・・・

- ◆ 仕事で遅くなって、娘のお迎えに間に合わない！
- ご近所の同級生の親に連絡して、
- その人が迎えてくれて、帰るまで家で預かってくれたので、
- 仕事で遅くなっても安心して帰ることができた
- ▶ ご近所の同級生の親で、預かってもらっても面倒と思わない人

日野の暮らしの
あんなこといいな、できたらいいな



は、生まれてきました！

- ▶ では、どうしたら実現できるの
だろう？

現状と未来のギャップを考える

現状



良い未来



違いは何？

知識がない
周りがして
いない

知識がある
みんなで
している

まちにはニーズもリソースも あるが、見えていない

ニーズ



言い出しにくい理由
見つけられない理由
そもそも考えたこと
がない

リソース

(社会にあるもの)
・モノ ・人
・知識・情報
・ノウハウ ・機会
・施策、サービス

自分が役立つの？
手伝うと言って
負担になると嫌



まちに笑顔の
人が増える！

まちにはニーズとリソースが つながれば解決できる！

ニーズ



言い出しにくい理由
見つけられない理由
そもそも考えたこと
がない

リソース

(社会にあるもの)
・モノ ・人
・知識・情報
・ノウハウ ・機会
・施策、サービス

自分が役立つの？
手伝うと言って
負担になると嫌

ニーズと
リソースが
出会う仕組み



まちに笑顔の
人が増える！

未来のストーリーが実現でき ない理由（ギャップ）は？

- ▶ 困りごとを言い出しにくい理由は？
- ▶ どうして周りの人にヘルプを出そうと思えないのだろう？
- ▶ どんな条件が整えば、**助けて**とお願ひできたり、**手伝うよ**と言えたりするのだろうか？
- ▶ 手をあげたり、声をかけたりしづらいなら、それはなぜだろう？